

ウラジオストクと 遙かなるロシア



鈴木 史郎 (すずき しろう)

前・在ウラジオストク日本国総領事館副領事
国土交通省北海道開発局札幌開発建設部流域治水対策官付流域治水対策専門官

2020年3月から2023年3月まで在ウラジオストク日本国総領事館経済班に所属。2023年4月より現職。

ウラジオストクに到着

2020年3月16日私は、ウラジオストク国際空港に降り立ちました。空港に到着すると日露の政府関係者、航空会社の関係者等たくさんの方が集まってレセプションを行っており空港中に歓迎ムードが漂っていました。この日、ANA初のロシア便である東京＝ウラジオストク直行便が前月のJAL便*1に続き就航したのです。新しい日露関係の始まりを告げる輝かしい日に思えました。この時私はまだ、その後ロシアと世界を待ち受ける厳しい運命について知るよしもなかったのです。



ANA便の機内食



ウラジオストク遠望



霧の町ウラジオストク

2019年末に発生した新型コロナウイルスの脅威はこの時すでに世界中を覆いつくす勢いで、ウラジオストクにおいても私が着任してすぐに、外出制限令が出され、ゴミ出しや生活必需品の購入等の必要最低限の外出しか認められなくなってしまいました。とは言うものの、この新しいウイルスが日常生活や日露の経済関係、さらには人類社会全体に多大な影響を与えることになるまでは当時考えておらず、割と暢気にかまえていたものでした。

着任生活はじまる

通常であれば、着任後に関係者へ面会し挨拶をするものですが、ロシアでも新型コロナウイルスのため対面で会うことがしばらくの間できなくなったので、テレビ会議やリモートワーク（現在では当たり前になっています）を使うなど、着任早々新たな仕事のやり方を模索することになりました。

ウラジオストク市について

ここで、ウラジオストク市のご紹介をしたいと思います。ウラジオストクは人口約60万人の港町でロシア極東地域の中心都市です。現在のウラジオストクの礎が築かれたのは1860年のことで、それほど古い時代ではありません。ロシア革命前には日本人街があり当時5千人以上の日本人が暮らしていて、日本人からは「浦塩」とも呼ばれていました。今でも市内のあちこちに日本人が居た頃の痕跡を見つけることができます。しかし、ソ連時代にウラジオストクは太平洋艦隊の根拠地でもある軍事都市であったことから、外国人の立ち入りを制限する閉鎖都市に指定されることとなりました。ソ連崩壊後、閉鎖都市の指定が解除され、

*1 2020年2月28日、日本航空（JAL）は成田空港とウラジオストクを結ぶ直行便を日系航空会社として初めて就航させた。同年3月16日、全日本空輸（ANA）も成田空港とウラジオストクを結ぶ直行便を就航させた。

さらに2012年のAPECサミット開催を契機として、約7,000億ルーブルの資金が投入されて都市開発やインフラ整備が行われ極東地域の首都としての面目を一新しました。

ウラジオストクはピョートル大帝湾に突き出た半島の先端に位置しており、天然の良港であり不凍港ですが冬季にはアムール湾が凍結するため砕氷船により航路を確保する必要があります。春には良く霧が発生し、半島に位置するため風が強く、特に冬になるとかなりの強風が吹きます。近年ではロシア極東地域でも気候変動の影響が現れてきているようで、夏になると低気圧が襲来してしばしば豪雨に見舞われ、洪水や冠水等の被害が起こるようになってきています。

ウラジオストクには、ロシア風の街並みが多く残っていて「日本から一番近いヨーロッパ」、「2時間で行けるヨーロッパ」を謳い文句として日本からの観光客誘致が期待されていました。ほかにも「極東のサンフランシスコ」、「極東のイスタンブール」と呼称されたりもする風光明媚な町です。沿海地方には希少なアムール虎が生息していることから、市の紋章には虎があらわれています。コロナ前のピークだった2019年、沿海地方へは3万5千人の日本人が訪れており（中国人は約46万人、韓国人は約30万人）、順調にいけば日本人にとっても人気の旅行先になる可能性があります。女性向け雑誌で特集が組まれたり、ウラジオストク専門のガイドブックが作られる等、盛んに宣伝が打たれていました。当初の計画ではJALが週7便、ANAが週3便のフライトを計画していたことからその期待のほどが窺えます。新型コロナウイルスの影響で世界中の国が国境を閉じてしまい、せっかく就航したJALとANAの東京＝ウラジオストク定期便も運休になってしまいました。

ウラジオストクの見どころはいくつかありますが、2016年にオープンしたマリインスキー劇場がおすすめです。ここでは本場のバレエやオペラを破格の安さで観劇することができます。他にもカニや海産物等のグルメを楽しむことができます。



マリインスキー劇場のバレエ

ロシア人について

ロシアは現在では欧州とアジアに跨る^{またが}広大な国ですが、その起源は欧州にあります。すなわちロシア人は飛行機や鉄道、自動車がない時代にウラル山脈の^{はる}遙か彼方から数千キロメートルを徒歩で極東まで移動してきたということになります。ロシア人は一見不愛想にも見えますが、非常に感情表現が豊かで陽気な人たちです。また、お酒が好きで、自然が大好き、家族や友人を大切にしています。大らかな人が多い反面、細かい事は苦手そうです。

また、困った人が居れば助けずにはいられないという親切心を持っている人たちでもあります。身近な例で言えば、私の同僚の車のバッテリーが上がって困っていた時に、通りすがりのおじさんが、自動車用品店まで行ってブースターケーブルを買ってきてくれたりしました（お金は私が出しましたが）。東日本大震災が起こった際には様々な国が日本に対する支援活動を行いました。ロシアもまたいち早く救助隊を派遣して支援活動を行いました。

ところで、ロシアで飛行機に乗ると不思議な体験をすることがあります。それは飛行機が着陸する時に、乗客から巻き起こる拍手です。拍手の理由については諸説あって、一つには乗務員への感謝の意を示すためと言われています。トラブルで目的地への到着が4時間遅れたことがあったのですが、その時には一切拍手はありませんでした。

ロシアの食べ物

ロシアではフランス料理、イタリア料理、中華料理、韓国料理、エスニック料理等々様々な食文化が普及していますが、中でも日本食が非常に人気で、すし、てんぷら、ラーメン、餃子、うどん等様々な日本食が食



ロシアの魚屋



ロシアの青果店

べられています。特にすしが人気で、地方都市でもすしは売っています。まだまだ日本で食べるすしのクオリティには到達していませんが、かなり本場の味に近いものが楽しめます。ロシア料理としてはピロシキが有名です。日本で食べる油で揚げたピロシキとはちょっと違って、具が入ったパンのような食べ物です。その他には冷凍餃子に似たペリメニという食べものがポピュラーでスーパーに行くと様々な種類の冷凍ペリメニが売っています。ロシア料理には香りづけにウクロップという名のパセリに似た香草が使われることが多いのですが、個人的にはこれはあまり好きではありませんでした。スーパーや市場では野菜や魚が売っているのですが、果物だけは鮮度があまり良くなかったです（特にリンゴ）。ちなみにロシア人はバナナが大好きです。

日本とロシアとの経済関係

日本とロシアとの経済関係は活発であり、ロシアとウクライナの戦争前には日本で消費されていたガス、石油、石炭のそれぞれ約10%を日本はロシアから輸入していたほか、大豆、トウモロコシ等の穀物や水産物、木材等も輸入していました。日本からは新潟港や富山港等から多数の中古車や輸送機械を輸出していました。なお、ウラジオストク市内を走る車のほとんどが日本車です。また、ウラジオストクはシベリア鉄道の発着点でもあり、欧州と日本を結ぶ陸路の要衝として物流の面からも将来性を期待されていました。



コジミノ港・東シベリア太平洋石油パイプラインの終点



ナホトカ港の石炭積替え施設

2016年5月、当時の安倍総理はプーチン大統領に対し、8項目の「協力プラン」*2を提案し、さらに2016年9月、ウラジオストクで開催された東方経済フォーラム*3において、8項目の「協力プラン」の枠内でウラジオストクを都市環境整備のモデル都市とすることを提案しました。ロシアにおいて極東地域の開発は国家的重要課題とみなされており、日本は8項目の「協力プラン」に基づきそれらに協力する立場にありました。

私は、日露協力による「快適・清潔で住みやすく、活動しやすい都市作り」に主に関わっており、沿海地方政府及びウラジオストク市行政府と国土交通省の橋渡し役も担っておりました。当時すでに（株）日建設計の設計によるウラジオストク・マスタープランが完成し、マスタープランを具体化する段階にありました。ウラジオストク・マスタープランのコンセプトは、市内中心部を港や歴史的建物を生かした観光都市として



ウラジオストク中心部

再開発する一方、都市機能を分散させることや立体駐車場、スマート信号、LRT等を整備することにより、渋滞を始めとする都市の諸問題を解消するというものです。その他にも、住環

2008年及び2014年以降に極東税関を通じた外国製中古車の輸入台数（カッコ内は日本製中古車）

	2008	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020
乗用車 (台)	453,599 (434,014)	99,749 (97,480)	36,250 (35,468)	36,259 (35,967)	50,108 (49,505)	64,639 (64,472)	89,679 (88,441)	83,787 (83,263)
トラック (台)	21,105 (19,275)	1,751 (1,621)	1,158 (1,089)	744 (698)	815 (723)	791 (770)	1,569 (1,393)	792 (785)
重機 (台)	55,719 (24,361)	108,055 (10,572)	61,319 (5,256)	56,765 (3,676)	85,812 (4,710)	98,197 (6,456)	96,756 (7,189)	データ無

（出典）ウラジオストク総領事館 沿海地方経済概要 2021年9月

* 2 8項目の「協力プラン」

(1)医療水準を高め、ロシア国民の健康寿命の伸長に役立つ協力、(2)快適・清潔で住みやすく、活動しやすい都市作り、(3)日露中小企業の交流と協力の抜本的拡大、(4)石油、ガス等のエネルギー開発協力、生産能力の拡充、(5)ロシアの産業多様化・生産性向上、(6)極東における産業振興、アジア太平洋地域に向けた輸出基地化、(7)日露の知恵を結集した先端技術協力、(8)両国間の多層での人的交流の飛躍的拡大。

* 3 東方経済フォーラム

東方経済フォーラムは、アジア太平洋地域の企業や投資家を対象としたロシア最大級の経済フォーラムで、2015年以降毎年9月にプーチン大統領出席の下、ウラジオストク市で開催されており（2020年は新型コロナウイルスの影響により翌年に延期）日本からも首相を始めとする政府関係者、ビジネス関係者が多数参加していた。

境を向上させるための精度の高い日本式の住宅建設や、新たな魚市場の建設、ホテルオークラの開業、ごみ処理分野での協力、観光分野での協力等々、様々な日露協力によるプロジェクトが進められており、コロナ影響下における困難に直面しながらも少しずつプロジェクトが具体化に向けて動き始めており手ごたえを感じ始めていたところでした。



日本式の住宅

2022年2月24日ウクライナ侵攻始まる

現地在住日本人の間でも2021年末から、ウクライナ国境に集結しているロシア軍部隊の動向に注目が集まっており、12月に総領事館主催の日本人関係者向け説明会が行われました。私はまだその時はロシアがウクライナに侵攻することはさすがにないだろうと考えていました。しかし情勢は厳しさを増して行き、2022年2月24日、ロシアはウクライナに向け侵攻を開始しました。

戦争が始まったことにより、日本人を含むロシア在住外国人による出国ラッシュが始まりましたが、ここで問題が起きました。3月8日、ロシアの航空会社は国際線の運航を停止することになったのです。欧米諸国が制裁の一環としてロシア機の領空飛行の禁止したことや、リース航空機の運航先での差し押さえリスクが生じることになったためです。この時まで、ウラジオストクと東京の間にはロシアの航空会社だけが直行便を運航していたのですが、それが利用できなくなってしまいました。これは当時、ウラジオストクから日本に帰国しようとしていた在留邦人にとっては深刻な問題でした。ウラジオストクから東京に行くためには、多額の費用と時間をかけてモスクワ、中東を経由するルートしか方法がなくなったためです(その後、モンゴル経由ルート、ウズベキスタン経由ルート等も現れました)。ウラジオストクは日本から一番近いヨーロッパから一番遠いヨーロッパになってしまったのです。この時空港で足止めを余儀なくされた日本人のノ

ボシビルスク・バレエ学校の生徒さん達がおり、ウラジオストク総領事館では総出で対応にあたりました。日本の航空会社もロシアから日本への帰国者をサポートすべく臨時便の運航を計画しましたが、最終的に航空保険の問題をクリアできず断念することになりました。

制裁下での暮らし

日本を含めた西側諸国による経済制裁が始まったことにより日露関係も徐々に冷え込んでいくことになりました。ロシアに進出している日本企業の多くが日本人駐在員を引き上げたり、ロシアビジネスから撤退して去っていきました。

戦争前には、ロシアでは日本車が大人気で、ウラジオストクにはトヨタ、日産、マツダ車等のディーラーが多数存在していたのですが、これらのディーラーはあっという間に中国車のディーラーに衣替えしてしまいました。一方、韓国は経済や観光関係のイベントを開いたり戦争前とあまり変わらない関係を継続していたのが印象的でした。日常生活で言えば、一時スーパーの店頭から砂糖が消えてしまったことがありましたが、これは旧ソ連時代の窮乏を知るロシアのお婆さんがモノ不足を心配して買い占めてしまったことから起きた一時的なものでした。その後、ウラジオストクでは食料不足やモノ不足は特に起こらなかったのですが、戦争が長引くにつれて、町の雰囲気も少しずつ変わっていきまし、兵士の部分動員が始まった時には町中に緊張感が漂っていました。

制裁によるロシア経済への影響として、飛行機のスペアパーツが輸入できなくなったという問題もありました。ロシアの航空会社の保有機のほぼ全てがボーイング、エアバス等の欧米製飛行機なのでこれは安全運航に関わる大きな問題でした。私の在任期間中には大きな航空事故は起こりませんでした。ロシア国内を移動する際には多少の不安を持っていました。

最後に

本稿執筆時点(2023年12月)においても戦争は続いています。ロシア人のこの戦争に対する考えやウクライナに対する思い等は、歴史的な経緯やロシア国内の政治的状況もあって我々日本人には理解しがたいところがありますが、多くの方が亡くなる戦争を肯定している人はほとんどいないのではないかと思います。一刻も早い戦争の終結を願っています。